

市政トピックス

新本庁舎建設 ニュースNo.10



1階の柱と梁の組み立てが完了しました

1月から始まった柱と梁の組み立て工事は1階部分が完了、2階部分の工事に移っています。建設工事開始から10カ月が経過し、いよいよ新本庁舎が姿を現し始めました。



柱と梁の設置工事の様子（2月5日撮影）

第3回現場見学会を開催

- 日時 3月23日（日）
▷午前の部 午前11時～正午
▷午後の部 午後1時～2時
※雨天の場合は、30日（日）に延期
- 場所 新本庁舎建設地（豊科6000番地）
豊科近代美術館西
- 対象 小学4年生以上の市民
- 申し込み 3月14日（金）までに電話で申し込んでください。（平日の午前8時30分から午後5時15分まで）
※詳細は、後日参加者に郵送で通知します。

■本庁舎内庁舎建設推進課

TEL71・2000（代） FAX71・5000

■市長と語る会に749人が参加

市では、市政懇談会「市長と語る会」を1月18日から2月1日まで市内5会場で開催しました。

この懇談会は、市長、副市長、教育長と市民の皆さんが直接語り合う場として毎年開催しているもので、本年は5つの会場で延べ749人が参加しました。

懇談会では新本庁舎建設後の各支所の整備や学校、子育てなど

どの教育課題、森林、道路などの環境整備のほか、各地域で抱える幅広い分野の課題について、積極的な意見交換がされました。

市では、5会場での概要を市ホームページで公開する予定です。

また、当日の様子はあづみ野テレビで放映される予定です。



幅広い課題の意見交換がされた（1月19日堀金会場）

●放映日

会場	放映日
堀金	2月22日（土）23日（日）
豊科	3月8日（土）9日（日）
穂高	3月15日（土）16日（日）
三郷	3月22日（土）23日（日）

- 放映時間 午前9時、午後1時、午後7時
※明科会場は2月15日、16日に放映済み

■災害時のLPガス応急・復旧対応の協定締結

市では1月17日、本庁舎でLPガス事業者で構成する2団体と「災害時におけるLPガスに係る協力に関する協定」を調印しました。

調印したのは、県内の684事業所で構成する一般社団法人長野県LPガス協会（小林芳夫会長・長野市）と、松本地域の125事業所で構成する長野L

P協会松本支部（会田恵司支部長・松本市）です。協定では、地震などの災害時に市の要請を受けて、LPガス事業者が仮設住宅や避難所などへLPガスを供給することや、被災した家屋等での供給施設の点検、土砂崩れなどで流れたガスボンベの回収などLPガスについて応急・復旧対応を行います。宮澤市長



調印を終えた2団体の代表者と宮澤市長

はあいさつで「協定により事業者の皆さんと日ごろから連携を密にし、万一の災害時にLPガスの迅速な応急・復旧に対応していきたい」と話しました。

■異業種連携「安曇野モデル」推進に助成制度新設を答申

市商工業振興審議会（齊藤正昭会長）は1月18日、本庁舎で企業支援のための商工業振興事業助成制度の見直しについて答申しました。

答申は、市が示した市内産農産物を活用して、市内の商工業者と農林漁業者とが連携して行う、商品開発などの経費に対する助成制度の新設や、利用が少

ない現行の助成制度の見直しについて意見を述べています。

このうち新助成制度への意見では、助成の可否を判断する審査会の役割や制度の推進を図るための組織の重要性などが挙げられています。

市では、昨年11月に市産業振興連携推進会議から示された、新たな産業振興策（安曇野モデル）となる地域資源を活用した異業種連携を推進する助成制度の提案を受け、昨年12月に同審議会に諮問していました。

答申を受け、市では市内事業者の異業種連携による産業振興推進に向け、現行の商工業振興助成制度の見直しを行う予定です。



答申書を宮澤市長に手渡す齊藤会長（写真中央）